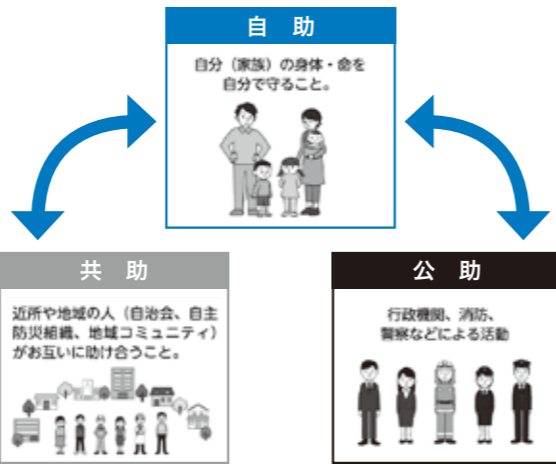


—自分の命を自分で守るために— 「自助」を考えることが防災対策への第一歩です

大地震などの大規模災害の発生直後は、地域全体が被災するため、市や消防、警察など(公助)が迅速な救出・救助活動を行うことは難しいという現実があります。令和6年能登半島地震を含め、これまでの災害履歴からも、ご理解いただきたい事実です。大地震から命を守るためには、「誰かが助けてくれるだろう」ではなく、まずは自分でできる防災対策(備蓄や家具の転倒防止など)を考えてみるのが第一歩です。



☑ハザードマップの こちらをチェック!

- 自助・共助・公助 → P2
- 避難の考え方 → P3
- 避難時の心得 → P5
- いつも備えておくもの → P7-8
- 避難所生活での注意点 → P9

最低
3日分
できれば7日分

水・食料品は最低3日分、できれば7日分を用意しておきましょう。水は1日1人3リットルが目安です。

食べることは我慢できても、トイレは我慢することができません。携帯トイレも準備しましょう。

大地震に備えて、できること・知っておくこと

☑行政アプリ「つるポッケ」の ダウンロードはお済みですか?

問合せ 秘書広報課広報広聴担当
つるポッケは、災害時に市から発信される災害情報がいち早く通知され、防災行政無線内容の確認、避難所の情報、市内道路の通行止め状況、鶴ヶ島市における台風や豪雨のリアルタイム状況など、防災に関する様々な情報が確認できます。ぜひ、この機会にダウンロードして、災害に備えましょう。



詳細はこちら

☑本市における災害ごみについて

問合せ 生活環境課環境推進担当
災害で発生したごみは、被災地で大きな問題となります。
□平時からごみ排出量の削減に努め、災害時の粗大ごみやがれき類の発生を抑制しましょう。
□災害時においても、分別・収集ルールを守り、野焼きや便乗ごみの排出、指定した仮置場(※)以外への排出といった不適正処理はやめましょう。
※ 仮置場を設置した場合は、市ホームページおよび市民センター掲示板などでお知らせします



詳細はこちら

令和6年能登半島地震災害義援金を 受け付けています

日本赤十字社鶴ヶ島市地区においても、災害義援金を受け付けています。皆さんの温かいご支援・ご協力をお願いします。
受付期間 12月27日(金)まで
受付先 市役所1階ロビー、各市民センター、中央図書館、若葉駅前出張所
☎ 福祉政策課福祉政策・地域福祉担当



埼玉県と連携し、鶴ヶ島市職員が石川県七尾市で避難所支援を行いました。写真は蓋付きのごみ箱を作っている様子です。



詳細はこちら

令和6年能登半島地震の関連情報を、市のホームページにまとめています。石川県のホームページにもリンクしていますのでご覧ください。また、テレビなどメディアによる情報にも注視をお願いします。

大地震から命を守る

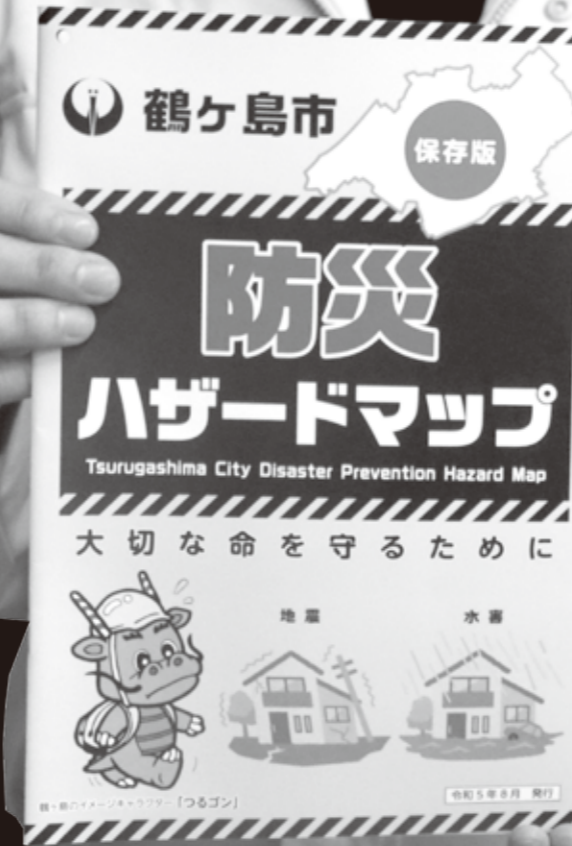
～自分の命を自分で守る～

問合せ 危機管理課防災危機管理担当

今だからこそ ハザードマップの再確認を

令和6年1月1日に発生した石川県能登半島地震。その被害は甚大なものとなっており、多数のメディアで報道されています。大切な命を失った悲しみは計り知れません。自分、家族をはじめ地域が一丸となって、犠牲者を出さないために、もう一度皆さんで考えてみましょう。

外国人の方は、ホームページ上の翻訳機能(※)で、132言語に対応した防災ハザードマップを見ることができます。
※ 民間の自動翻訳システムを使用しているため、翻訳が必ずしも正確であるとは限りません



市HPからのご確認はこちら
(日本語版)



Click here for hazard maps in foreign languages



☝ハザードマップP10「我が家の備え」(地震対策)をチェック

令和6年能登半島地震で亡くなられた方の最も多い原因は、倒壊した建物の下敷きになったことなどによる「圧死」です。住んでいる建物やその周りにあるもの、家の中の家具やガラスなど、地震に対する安全性について、確認しましょう。

木造住宅の簡易耐震診断を行っています

市では、無料でパソコンによる簡易耐震診断を行っています。いつ起こるか分からない地震に備え、被害をできるだけ少なくするため、ご活用ください。
※ 事前に相談日時の予約(電話)が必要です
☎ 都市計画課開発建築担当



詳細はこちら



☝ハザードマップP11「震災時の注意」をチェック

▶まず身の安全を



頭を保護し、丈夫な机の下などに身を隠します。家具の転倒や落下物に十分注意します。

「今、大地震が起きたら—。まずはどんな行動をとりますか? あわてておやみに行動することのないように、大地震が起きたらとるべき行動を確認しておきましょう。また、大地震発生時にいる場所や状況で、とるべき行動も変わってきます。屋外にいた場合、エレベーターに乗っているとき、自動車運転中など、状況に応じた対応ができるようにしましょう。